

平成30年度市政懇談会の主な質疑内容（松岩地区）

<p>自治会名簿作成のため、自治会で住民情報を集めるが、説得しても集まらない場合、市から支援はあるのか。</p>	<p>総務課長： 先行モデル地区の事例と同様に、市長名での協力依頼文書の配布を行います。また、住民情報を預かる自治会の住民からの信頼が高まるよう支援していきます。</p>
<p>自治会名簿作成する際、統一されたひな形を使うべきか。独自の様式でもいいのか。また、作成時期は足並みを揃える必要があるのか。</p>	<p>総務課長： 先般のワーキング会議では、今後市内全体で行う予定にしています。ただ、時期はそれぞれの地域の実情に応じてで、かまわないと思います。様式は、使いやすいくまた管理しやすいよう、手を入れていただいで構いません。ぜひ柔軟にお願いします。</p>
<p>被災した片浜、古谷館地区の今後について、市の考え方は。</p>	<p>建設部長： 平成26年に策定したマスタープランで触れていますが、企業誘致のための土地活用を想定しています。そのため、土地集約や整地のための土地区画整理事業や道路整備を平成32年度までに行います。 市長： 商業地として民間企業が利用していただくよう土地区画整理を始めました。また、冠水対策としてポンプ場設置を行います。</p>
<p>仙台市を除く宮城県の小中学生学力テスト結果が、全国最下位だった。対応は。</p>	<p>市長： 県内に格差を付ける発表方法に疑問があります。学力テスト上位の秋田県に教職員を派遣しています。</p>
<p>人材育成は、本当に成功しているのか。</p>	<p>震災復興・企画課長： 人材育成は継続的に行っており、一生懸命活動する人も出てきています。活動する人をみんなで応援する雰囲気も必要なので、協力をお願いします。</p>
<p>婚活に付けた予算の成果は。</p>	<p>震災復興・企画課長： 結婚対策は地域ごとの課題もあり難しいですが、先進事例の研究等も含めて取り組んでいます。今年度は全国的に実績のある業者に委託し、セミナーやイベント等を開催しています。 市長： 市では1年に900～1,000人が亡くなり、一方で生まれる子どもは300人程度で、1年に600人ずつ減る状況になっています。婚活事業の効果は見え</p>

	にくい部分もありますが、危機感を持って取り組んでいきます。
安全だと思っていた自治会館のブロック塀のことで職員が訪ねて来たが、何か基準や補助金があるのか。	建築・公営住宅課長： ブロック塀調査は県土木事務所で行ったもの。基準は建築基準法です。危険ブロック塀の除却に関する補助金の相談窓口は、住宅支援課です。
牧沢二区自治会設立の状況を知りたい。子ども会について支援しているが、支援する人数も増えている。「他地区の子どもなのに」という意見もある。	地域づくり推進課長： 設立準備会を昨年9月に作りました。しかし、この地区は全市から集まっているので、まずは3地区に分けて、それぞれ親睦を深めてもらっています。定期的に準備会を開催し設立を目指しています。 市長： 支援に感謝します。支援をいただいている状況は、設立準備会にも伝えます。
公民館のセンター化について、具体的な詳しい説明を聞きたい。	地域づくり推進課長： これまでの公民館は地域の生涯学習の場でした。それに加え、さまざまな団体の活動の場としていくためにセンター化を目指しています。具体的な姿については、今後、地域の皆様と協議しながら進めていきます。 市長： 震災後、各地域にまちづくり協議会ができましたが、拠点となる場所がありませんでした。センター化して、まちづくり協議会が指定管理を受ければ、協議会の事務局を置き、センターを拠点としてまちづくり活動ができます。いろんな方々の意見を聞き、先進地である一関市を参考として勉強していきます。
昨年来、面瀬川沿いの工事のため、道幅が蛇行し狭い。安全運転のためにも広くしてほしい。	土木課長： 県土木事務所と協議し、路肩などを広げました。安全運転できるよう対策を進めています。